公益財団法人 堀田育英財団設立趣意書

平成１８年６月２日

我が国の経済は、バブル崩壊以降、長期化する不況の中で、官・民の懸命な努力により、ここにきて企業の設備投資が拡大傾向を持続する等、「踊り場」状態を脱しつつあり、明るさが広がってきました。
長期化する不況の中で迎えた２１世紀ではありましたが、我が国が果たすべき役割と責任は、世界規模で進展する、情報技術（ＩＴ）社会、ボーダーレス社会のもとでますます重要なものとなりました。

このような社会情勢においては、長期的な視野に立った人材の育成が必要不可欠であり、有能な人材を一人でも多く育成することが、今まで以上に要請されてくるものと考えられます。一方では、学業優秀、心身健全、旺盛な研究心を持ちながら、経済的理由により学資の支弁が困難な志ある学生が、奨学援助の機会を求めていることも事実としてあります。又、我が国に学ぶ多くの外国人留学生は、我が国の物価水準や住宅事情により、経済的に相当の苦難を強いられていると思われます。

設立代表者である堀田一は、１９５６年２月に三喜商事㈱を設立し、戦後いち早く欧州の有力ブランドに注目、高級服地、高級プレタポルテ、バッグ、時計等を、日本のマーケットに紹介してきました。

生涯を通じて深い関わりを持つことになった欧州の芸術文化を研究し、我が国の芸術文化の水準向上を目指す欧州への日本人留学生と、日本で学び欧州の文化と産業の発展に貢献しようとする欧州からの外国人留学生を対象に、奨学金の給与を公益事業として行うことは、意義深いことと思われます。

有能な人材の育成のための奨学事業を行うことは、社会公共の利益に寄与し、国際友好、国際親善に寄与することと信じて、財団の設立を行うものであります。

公益財団 法人堀田育英財団
設立代表者　堀田　　一
（平成２４年６月２７日公益認定）